

公益財団法人書壇院
令和3年度事業計画書

I 公益事業1 書道に関する普及啓蒙活動事業

- 1 収蔵品の調査研究と貸出・公開 2頁
- 2 講演会・ギャラリートーク 3頁
- 3 展覧会 3頁

II 公益事業2 書道に関する支援・能力開発事業

- 1 書道に関する技能能力の審査・認定 4頁
- 2 書道教育研究誌の頒布 4頁
- 3 次代を担う指導者の育成 6頁

III 収益事業

- 1 事務所床賃貸事業 7頁
- 2 書壇院ギャラリー・書壇院ホール賃貸事業 7頁

IV その他

- 1 懇親会 7頁

I 公益事業1 書道に関する普及啓蒙活動事業

1 収蔵品の調査研究と貸出・公開

1-1 企画維持管理

- (1) 新規購入品及び寄贈品の整理・配架
- (2) 苞竹記念文庫の書庫・収蔵品の整理・管理

- ① 閲覧図書及管理及び本の破れ等の修理
- ② 基本財産に印を付す
- ③ 寄贈棚を廃止し、書棚を移動する
- ④ 軸額類のいたみ、破損の点検
- ⑤ 硯棚の整理

(3) 書壇院ギャラリー展示の実施

- ① 第113回展（企画展示）

本物を見よう - 『書壇』掲載の本院蔵 明・清の書 その2-

- ② 第114回展（企画展示）-企画中-
- ③ 第115回展（平常展示）「吉田苞竹展」

(4) その他

1-2 調査研究

- (1) 明治以前の日本の書の拓本の調査を継続する。

- ① 釈文の採録
- ② 粗読み
- ③ 必要に応じ原石等の実地調査

- (2) 鐘銘拓本の整理研究は当分の間棚上げとする。

1-3 展示事業

展示計画及び会期は以下のとおり。

(1) 企画展示

- ① 第113回展

本物を見よう - 『書壇』掲載の本院蔵 明・清の書 その2-

会期 令和3年6月15日（火）～7月25日（日）

- ② 第114回展 -企画中-

会期 令和3年11月16日（火）～令和4年1月30日（日）

(2) 平常展示

- ① 第115回展 「吉田苞竹展」

会期 令和4年3月2日（水）～3月27日（日）

2 講演会・ギャラリートーク

2-1 講演会

第26回文化講演会を実施する。

演 題 「水筆を含む指導方法について」(仮題)

講 師 長野竹軒先生

日 時 未定

会 場 未定

定 員 未定

会 費 1,000円

2-2 ギャラリートーク

企画展示の期間中にギャラリートークを行う。

3 展覧会

(1) 第13回「書壇院 日本文の書」展

会 期 I 令和3年9月11日(土)～9月16日(木)

II 令和3年9月18日(土)～9月23日(木・祝)

III 令和3年9月25日(土)～9月30日(木)

会 場 書壇院ギャラリー

出品者 書壇院展審査会員・院友

(2) 第88回書壇院展

会 期 令和3年12月4日(土)～11日(土)

会 場 東京都美術館(東京・上野公園)

出品者 全国公募による出品者、書壇院展審査会員・院友

(3) 第88回書壇院学生展

会 期 令和3年12月4日(土)～11日(土)

会 場 東京都美術館(東京・上野公園)

出品者 全国公募による小・中・高校生

(4) 第61回書壇院竹心展

会 期 令和4年3月22日(火)～27日(日)予定

会 場 セントラルミュージアム銀座(紙パルプ会館5F)

出品者 書壇院展審査会員・院友(特別選抜者)

II 公益事業2 書道に関する支援・能力開発事業

1 書道に関する技能能力の審査・認定

各昇位試験及び書道・南画教授認定試験を実施する。

- (1) 『書壇』漢字・かな・南画昇位試験 締切 令和3年 6月8日(火)
- (2) 『書壇』玄位・妙位・雪位試験 締切 令和3年 8月9日(月)
- (3) 書道・南画教授認定試験 締切 令和3年 9月7日(火)
- (4) 日本文部昇位試験 締切 令和3年10月7日(木)
- (5) 『書壇』上位・極位・雅位試験 締切 令和4年 3月8日(火)

2 書道教育研究誌の頒布

2-1 書道教育研究誌である月刊『書壇』及び月刊『学生書壇』の刊行について

(1) 書壇院は、公益財団法人としての理念を体し次の諸事項を行う。

○『書壇』・『学生書壇』の誌代を次のようにする。

『書壇』 1部800円 (送料・消費税込)

『学生書壇』 1部450円 (送料・消費税込)

○『書壇』購読者は、漢字・かな・南画・日本文・篆刻のすべての部門に無料で出品できる。

○『学生書壇』購読者は、漢字・かな・硬筆すべての部門に無料で出品できる。

○『書壇』協力員、『学生書壇』協力員の設定

過去1年間(4月号～3月号)に購読又は取扱った冊数がある一定以上に達した指導者(あるいは取扱責任者)を協力員として姓号(氏名)を誌上に発表し、協力を讃える。

(2) 『書壇』について

① 月例掲載記事は令和2年度に準じて行う。

② 表紙は書壇院蔵の「南画」とし、裏表紙は、書壇院蔵の作品に解説を添えて載せる。

③ 「同人参考手本」

条幅・半紙共、読者の競書出品の参考となるようにする。

また、2尺×6尺・3尺×4尺の参考手本は、書壇院展・毎日書道展への取り組みを身近なものとし、制作意欲を刺激し、出品数の増加を図る目的で掲載する(漢字・かな・日本文)。

④ 「漢字規定」

上位・準上位の課題は引き続き唐詩を、玄位～六位及び新規は五言句の参考手本を掲載する。小字の課題は引き続き古典と近藤秋篁書の

臨書を取り入れる。

⑤ 「かな規定」

極位・準極位は和歌又は俳句を、妙位～6位及び新規は参考手本を掲載する。

⑥ 「南画規定」

南画初学講座として参考手本と解説を載せる。

⑦ 「漢字臨書規定」

古典研究として読者の作品制作の糧となるような古典を選び、参考手本（条幅・半紙）と解説を載せる。

⑧ 「かな臨書規定」

極位～2位は古典の臨書とし、3位～6位はその中の一部分を参考手本により臨書する。

⑨ 「日本文の書」

参考手本（半紙規定・条幅規定）を掲載し、規定と随意を募集する。

⑩ 「篆刻入門」

参考手本を掲載し、規定と随意又は模刻を募集する。

⑪ 随時掲載記事

「私の好きな古典」、「展覧会案内」、「展覧会報告」、「書壇院日記」
その他

⑫ 「審査会員遊苑」

『書壇』の審査会員を対象に毎月課題を設定し、作品制作をすることで書の技倆の向上に資するようにする（漢字・かな・日本文）。

⑬ 表具店、文房四宝店等の広告をなるべく多く掲載し、購読者への情報提供の拡大を図る。

⑭ 毎月の出品票の下にその月の清書締切日時を明記し、遅着のないよう注意を喚起する。

(3) 『学生書壇』について

① 月例掲載記事は令和2年度に準じて行う。

② 表紙は泗水昇鼎図より取りあげる。

③ 表紙裏に古典への招待を載せる。

④ 「鑑賞作品」は古典の一部を大きく掲載し、やさしい解説を添える。

⑤ 掲載手本

「毛筆部」 幼児、小1、小2、小3、小4、小5、小6、中1、
中2、中3、高校（11種）

「かな部」 かな中学、かな高校（2種）

「硬筆部」 幼児、小1、小2、小3、小4、小5、小6、
中学・高校（8種）

- ⑥ 「特待生紹介」は従来どおり掲載する。
- ⑦ 毎月の出品票の下にその月の清書締切日時を明記し、遅着のないように注意を喚起する。

2-2 『書壇』『学生書壇』年間発行部数について

両誌に今後も改善を加え、魅力ある教育研究誌となるよう一層努力する。
令和3年度は次のとおり計画する。

『書壇』年間売上部数	29,000部	前年計画比	1,000部減
『学生書壇』年間売上部数	31,000部	前年計画比	1,000部増

3 次代を担う指導者の育成

3-1 書道教室の継続実施

書道教室（漢字・かな・水墨画（南画））を月2回（原則として第2週・第4週）書壇院ホールにおいて継続実施する。

書道教室（漢字）	水曜日・金曜日
書道教室（かな）	火曜日・土曜日
水墨画（南画）教室	土曜日
書道教室（子ども）	水曜日・木曜日・金曜日・日曜日

3-2 書道講習会の開催

書道講習会を年4回（日本文、かな、水墨画（南画）、篆刻 各1回）実施する。

日本文講習会	7月上旬
水墨画（南画）講習会	9月下旬
篆刻講習会	10月下旬
かな講習会	2月下旬

3-3 書初め会の継続実施

正月に書初め会を実施する。

- ① 大作揮毫パフォーマンスを行い、揮毫者の意欲の向上を図るとともに一般参加者の書への関心を高める。
- ② 大作揮毫パフォーマンスの作品を、1週間、書壇院ホールに展示する。
- ③ 一般参加者には本院が用意した筆、紙、墨液、下敷き等を自由に使って各々書初め揮毫を体験してもらう。
- ④ 参加者の求めに応じて指導・助言を行う。
- ⑤ 一般参加者の作品を会場に展示して鑑賞する。

3-4 「若竹」活動の一層の活発化

① 「若竹」（書の向上を目指す仲間たち）の活動

若竹交流会を年2回（8月、12月）開催する。8月は勉強会を行い、書の向上を目指す。12月は書壇院展での交流会で、仲間たちが多数参加でき交流する方向を目指す。

② 第6回書壇院若竹作品発表会の開催

「若竹」の活動の成果を発表するために、第6回書壇院若竹作品発表会を令和3年8月に書壇院ギャラリーで開催する。

③ 第7回インターネット展の開催

前記②の作品を世間に発表するために、引き続きインターネット展を開催する。

3-5 他団体主催展覧会への出品参加

① 毎日書道展への出品

作品検討会（東京）

② 高野山競書大会への出品

③ 国際高校生選抜書展への出品

III 収益事業

1 事務所床賃貸事業

賃貸人公益財団法人書壇院と賃借人森ビル株式会社が契約締結した「建物賃貸借契約書」に基づき、本院が所有する事務所床（港区六本木1-9-10 アークヒルズ仙石山森タワー27階部分）を賃貸する。

2 書壇院ギャラリー・書壇院ホール賃貸事業

公益財団法人書壇院「書壇院ギャラリー」「書壇院ホール」借用規程に基づき、利用者の使用に供する。

IV その他

1 懇親会等

展覧会・講演会実施に付随して懇親会等を開催する予定。

① 「第26回文化講演会」懇親会

② 「第88回書壇院展」親睦会

③ 「第61回書壇院竹心展」懇親会